

庄内地区地域づくりセンターだより

令和2年度 NO.1



令和2年12月1日発行 庄内地区地域づくりセンター

☎ 390-0827 松本市出川1-5-9 庄内地区公民館内（ゆめひろば庄内1階）

☎ 24-1811 Fax 24-1812 E-mail: shounai-s@city.matsumoto.lg.jp

昨年度までは、年に1回地域づくりセンターだよりを発行し、全戸配布にてお配りしていましたが、今年度から随時回覧にて配布させていただくことといたしました。
時々の地域の話題をお届けできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

第13回ドリーム庄内“秋のつどい”開催！

10月17日（土）、18日（日）の2日間、「第13回ドリーム庄内“秋のつどい”」が、庄内地区公民館・庄内体育館を会場に開催されました。

昨年までは、防災の関心を高めるため、また、誰もが楽しめる場として「防災運動会」を実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により、運動会を中止とし、庄内体育館を「模擬避難所」として設営し、見学していただく内容に変更しました。

「情報閲覧コーナー」「類似品体験コーナー」「防災いろいろコーナー」「避難所レイアウト」「消防団体体験コーナー（18日のみ）」を設け、来場された皆さんに、避難所の雰囲気を感じてもらったり、様々な防災用品を見てもらい、防災への意識を高めていただけたのではないかと思います。

17日の夕方以降は、体育館の照明を落とし、バルーンライト・ハロゲンライト・ランタンのみの灯りとし、夜の避難所の雰囲気も感じていただけたのではないかと思います。

準備・片付け・運営にご協力いただいた役員の皆さま、お疲れさまでした。ありがとうございました



感染症対応で人との間を広く！

放水体験！



開成中学校避難所開設・運営訓練開催！

10月25日（日）、大変冷え込んだ寒い中でしたが、開成中学校において初めてとなる避難所開設・運営訓練が開催されました。

開成中学校は、地震のような災害の際に神田町会の方が避難する場所として想定されています。そのため、今回は神田町会自主防災会の皆さまによる開設・運営訓練となりました。

当日は、79名の方が参加され、感染症対策での受付時の検温の後、全体説明、全員での避難所レイアウト訓練を行い、その後各活動班（総務・情報班、避難者管理班、物資班、衛生班、食事炊き出し班、救護・要支援者班、ボランティア班、救出支援班）に分かれ運営訓練を行いました。衛生班では、仮設トイレ・プライベートテント設営訓練を行い、慣れないテント組み立てに苦労されていました。救護・要支援者班では、段ボールベッド・簡易ベッド・敷段ボールの設営訓練を行い、組み立ての後それぞれの寝心地を確認していました。救出支援班では、実際に要支援者のお宅を回り、安否確認訓練が実施されました。

今回の訓練のアンケート結果では、「訓練が役に立った」「訓練は必要」と回答された方が95%となっており、改めて、こうした訓練の必要性を感じられたことがよくわかりました。

実施時期については、「暖かい時期の開催を考えてほしい」「暑い時期の開催も必要」などのご意見をいただきました。今後の反省会等の中でいただいたご意見を参考に、来年度へつなげていきたいと思っております。



レイアウト訓練の様子



仮設トイレ・プライベートテント設営



段ボールベッドの寝心地は？



感染症対策で受付時に検温

庄内地区まちづくり協議会では、地域づくり推進交付金を使い、毎年指定避難所に様々な防災敷材を購入し配置しています。本年度は、並柳小学校にリヤカー1台・簡易ベッド6台・仮設トイレ3台・プライベートテント3基、開成中学校に簡易ベッド4台・仮設トイレ2台・プライベートテント2基を、市防災倉庫に設置しました。